

# 施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3-②	自然環境の保全を推進する	環境部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
里山保全活動への参加者数（年間）	人	388	440	476			400
環境学習への参加者数（年間）	人	1,020	963	1,080			1,100
関連事業							
○環境活動促進事業○里山保全推進事業○西部丘陵地域資源まちづくり支援事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	1,260						
執行率（%）	100						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●環境ファンクラブ会員によるパネル展示や環境啓発活動の実施等、環境活動実践者の支援・拡大や会員相互の交流を図るとともに、環境市民講座を実施することで、環境に関する市民意識の向上を図りました。</p> <p>【環境フェア：約860人参加】【子ども環境教室 川編：129人参加、里山編：66人参加】</p> <p>●里山保全協議会を開催し、下草刈り等、里山の整備及び管理を行うとともに、市民大学交流事業により、里山保全活動を行いました。また、神奈川県とともに市民活動団体を支援し、里山の保全・再生に努めました。</p> <p>●吉沢地区において、前年度に選定した吉沢八景をとおして、人を呼び込むための仕組みづくりを産官学民の協働で検討しました。また、地域づくり・里づくりに関する講演や、地域資源を活かした管理活動に関するワークショップを行うことで、里山保全の意識向上を図りました。</p> <p>【講演会（1回）：60人参加】【ワークショップ（3回）：281人参加】</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民一人一人が環境保全の大切さを感じ、自主的に行動できるようになることが必要です。</li>   <li>●里山の保全・再生活動は、地元自治会や地権者の協力・理解に加え、里山事業への多くの市民参加が不可欠です。</li>   <li>●西部丘陵地域の自然資源や地域資源を活かした交流やレクリエーションの場づくりが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境に関する意識啓発のため、効果的な周知方法や手法等を継続的に見直し、環境教育を推進します。</li>   <li>●生物多様性の保全を意識した里山保全活動を進めるとともに、里山に関する情報発信により市民の関心を高め、地域に密着した市民主体の里山保全活動を促進します。</li>   <li>●西部丘陵地域の自然資源や地域資源を活かす方策を進めるにあたり、吉沢地区をモデルとして、地域の活性化に繋がる取組を産官学民の協働により進めます。</li> </ul>